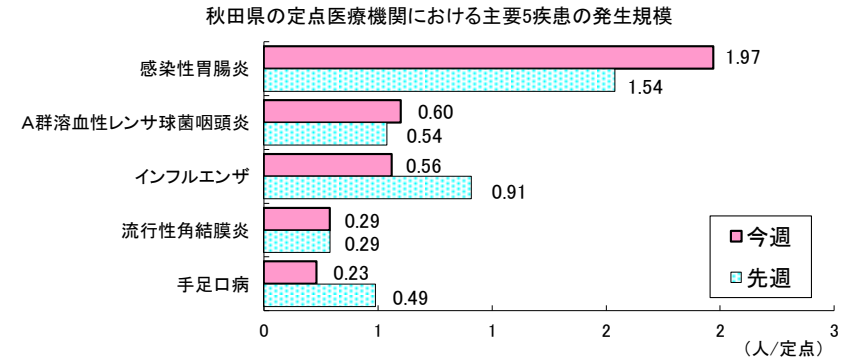




【第13週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、大館、能代、秋田中央で増加、北秋田、大仙、横手、湯沢で同規模、秋田市、由利本荘で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、大館、秋田中央、横手、湯沢で増加、北秋田、由利本荘で同規模、秋田市、能代で減少しています。
3. インフルエンザは、県全体で38%減少しています。保健所別では、大館、大仙で増加、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘で減少しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減
RSウイルス感染症	0.03		↘																								0.25		↘	
インフルエンザ	0.91	0.56	↘	3.09	1.27	↘	0.57	1.86	↗				0.25		↘	1.50	0.33	↘	0.17		↘		0.14	↗						
咽頭結膜熱	0.06	0.06			0.14	↗													0.50	0.25	↘									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.54	0.60	↗	1.14	0.29	↘		0.50	↗	0.50	0.50		1.00	0.67	↘	1.50	2.50	↗	0.25	0.25						0.33	↗		0.50	↗
感染性胃腸炎	1.54	1.97	↗	2.00	1.57	↘	0.75	2.75	↗	1.00	1.00		0.67	3.33	↗	3.75	4.75	↗	0.75	0.25	↘	1.25	1.25		0.33	0.33		2.25	2.25	
水痘	0.14		↘				0.50		↘	1.00		↘							0.25											
手足口病	0.49	0.23	↘	1.29	0.71	↘										1.00	0.25	↘	0.50		↘				0.67		↘		0.50	↗
伝染性紅斑	0.11	0.11		0.14	0.29	↗																0.75	0.50	↘						
突発性発しん	0.26	0.14	↘	0.86	0.29	↘	0.25		↘		0.50	↗					0.25	↗									0.50	0.25	↘	
ヘルパンギーナ		0.03	↗																	0.25	↗									
流行性耳下腺炎	0.03	0.06	↗										0.33		↘								0.50	↗						
川崎病		0.03	↗																				0.25	↗						
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.29		0.67	0.67					*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗													*	*					1.00	↗							
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から2人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、百日咳が北秋田保健所管内から2人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が由利本荘保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-12週		13週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
二類	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	3773	22	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	36		
	腸管出血性大腸菌感染症	225	6	
	腸チフス	9		
四類	パラチフス	6		
	E型肝炎	134	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	40		
	エキノкокクス症	5		
	黄熱			
	オウム病	3		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	6		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-12週		13週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	56		
	デング熱	34		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	7		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ペネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	8		
	野兔病			
	ライム病	1		
	五類	リッサウイルス感染症		
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症		325	4	
レプトスピラ症		1		
ロッキー山紅斑熱				
アメーバ赤痢		133		
ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		54		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		339	1	
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		6		
急性脳炎		223	4	
クリプトスポリジウム症		1		
クロイツフェルト・ヤコブ病		30	1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		220	1	
後天性免疫不全症候群		202		
ジアルジア症		9		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		113		
侵襲性髄膜炎菌感染症		10		
侵襲性肺炎球菌感染症		668	4	
水痘(入院例に限る)		99	3	
先天性風しん症候群	1			
梅毒	1186	12	1	
播種性クリプトコックス症	23	1		
破傷風	19			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	31			
百日咳	1850	5	2	
風しん	73			
麻しん	9			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2			
指定	新型コロナウイルス感染症	1685	2	2

トピック

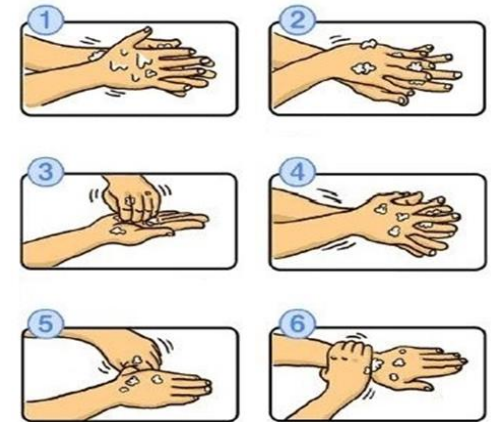
<こまめな手洗いと咳エチケットを心掛けましょう>

新年度をむかえ、新たな生活をスタートさせる方が多くなる時期です。環境の変化が心身の負担になると、体調を崩しやすくなります。また、これまで新型コロナウイルス感染症の発生に伴い一斉休校していた学校等も多くの地域で再開される予定です。集団生活をする場合は、感染症が拡がりやすい状況にあることに留意し、こまめな手洗いや咳エチケットを心掛け、感染症の予防、まん延防止に努めましょう。

■手洗いの方法

あらかじめ爪は短く切っておきましょう。時計や指輪を外し、次の手順で手を洗います(図)。

- ①流水でよくぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこする。
- ②手の甲を伸ばすようにこする。
- ③指先・爪の間を念入りにこする。
- ④指の間を洗う。
- ⑤親指と手のひらをねじり洗いする。
- ⑥手首も忘れずに洗う。



ここまで洗ったら十分な流水で石けんを洗い流し、最後に清潔なタオルやペーパータオルで手をよく拭いて乾燥させましょう。タオルの共用は避けましょう。

■咳エチケット

- 咳やくしゃみが出るときは、次のことを心掛けましょう。
- ・マスクを着用する。
 - ・マスクがない時は、ティッシュなどで鼻や口を覆う。
 - ・とっさの時は袖や上着の内側で受けるようにし、顔を他の人に向けないようにする。
 - ・周囲の人からなるべく離れるようにする。

図 手洗いの正しい手順 (厚生労働省監修「マメに正しい手の洗い方」より)



2019年/2020年シーズン (2019年第36週：9月2日～) インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

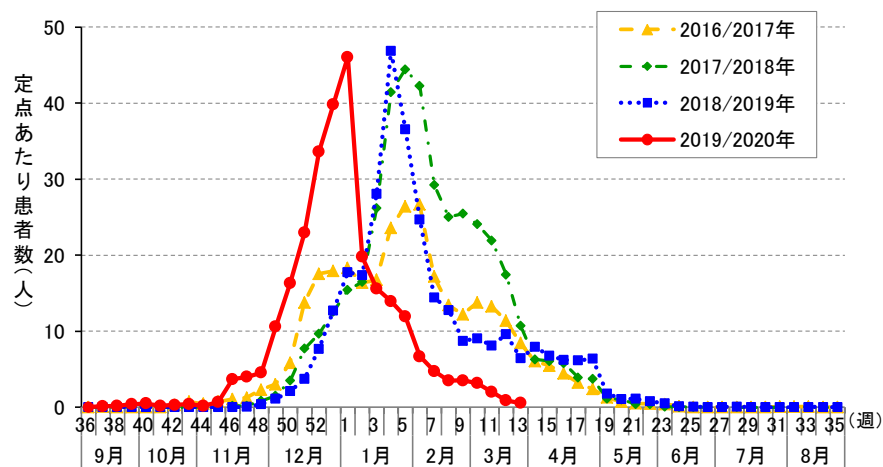


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

※県全体として、定点あたりインフルエンザの患者数は流行の目安となる1以下となっています。しかし、これから新年度となり、入進学や就職等で新たな集団生活が始まると、再び感染のリスクが増大しますので、手洗いや咳エチケットなど、日常的な感染予防を継続して行いましょう。

インフルエンザ入院サーベイランス

表 2019/2020シーズン 秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)					
秋田県			全国		
3/16～3/22 (12週)	3/23～3/29 (13週)	累計	3/9～3/15 (11週)	3/16～3/22 (12週)	累計
1	1	320	48	25	12,948

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告はありませんでした。



感染性胃腸炎情報

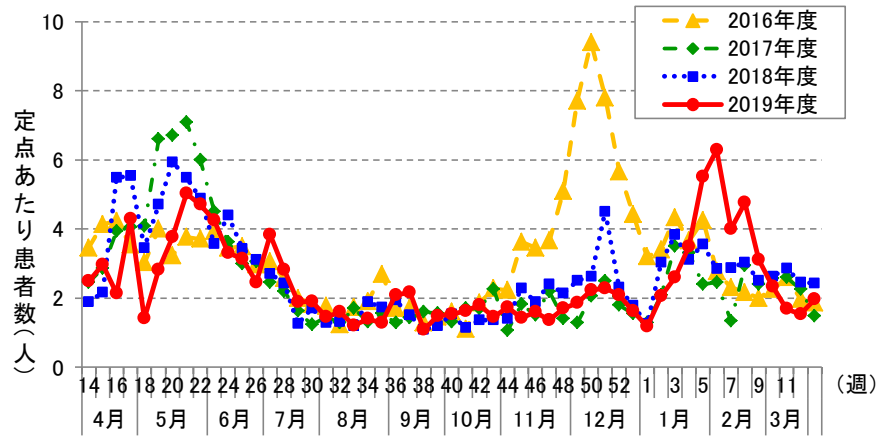


図 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

感染性胃腸炎の集団発生発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告はありませんでした。

その他の感染症の集団発生報告

ヒトメタニューモウイルス感染症の集団発生報告が1件ありました。

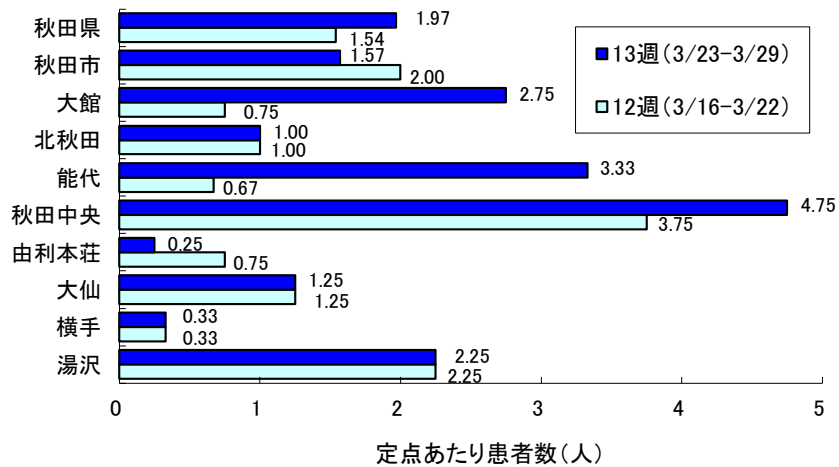


図 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
由利本荘市	石沢保育園	3/27	33名のうち20名	15名のうち0名	20名	3/16 ~ 3/27	発熱、咳



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		